

2026 April

Vol.96

広島西医療センターNEWS

発行所:独立行政法人 国立病院機構 広島西医療センター <https://hiroshimanishi.hosp.go.jp/>
〒739-0696 広島県大竹市玖波4丁目1番1号 TEL.0827-57-7151(代)



CONTENTS

■ 院長就任のご挨拶.....	2	■ 外科紹介.....	13
■ 副院長就任のご挨拶.....	3	■ 血液内科紹介.....	14
■ 統括診療部長就任のご挨拶.....	3	■ 職場紹介 臨床工学技士.....	15
■ 看護部長就任のご挨拶.....	4	■ 職場紹介 療育指導科.....	16
■ 薬剤部長就任のご挨拶.....	4	■ 医療脱毛を開始いたします.....	17
■ 新任医師紹介.....	5	■ 患者図書室から.....	19
■ 初期臨床研修医紹介.....	6	■ 栄養士のつぶやき⑥.....	20
■ 第3回地域医療連携のつどい.....	7	■ 地域医療連携機関のご紹介.....	21
■ 令和7年度看護師特定行為研修修了式.....	9	■ 地域医療連携室実績報告.....	23
■ 令和7年度看護師特定行為研修入講式.....	10	■ 紹介医療機関実績報告.....	23
■ 新人看護師わかばマーク返還式.....	11	■ 外来診療担当医表.....	24
■ 新採用看護師研修.....	12		

病院理念「患者さんと共に」

■基本方針

1. 患者さんの意思の尊重と信頼関係の確立
2. 地域に密着した良質で安全な医療の提供
3. 予防医療への貢献
4. 医療の質の向上のための研鑽
5. 経営基盤の確立

■「患者の権利」宣言

1. 個人の尊厳の権利
2. 良質な医療を平等に受ける権利
3. 自分の受けている医療について知る権利
4. 自分の意見を表明し、自己決定する権利
5. 個人のプライバシーが守られる権利



公認キャラクター
「にっしーくん」



院長就任のご挨拶

院 長 鳥 居 剛



令和8年4月1日付で国立病院機構（NHO）広島西医療センター院長を拝命いたしました鳥居剛でございます。謹んでご挨拶申し上げます。

私は平成5年に広島大学医学部を卒業し、脳神経内科医として歩みを重ねてまいりました。当院とは長く深いご縁があり、平成13年に国立療養所原病院（当時）へ赴任して以来、平成17年の大竹病院への移転統合では計画実務担当として携わりました。患者さまを新病院へお連れした際の緊張と、無事にお守りすることができた安堵の思いは、今なお強く記憶に残っております。

その後、NHO呉医療センターにおいて救急蘇生教育や初期研修医指導に従事し、令和2～3年には国立病院機構本部にて、研修のオンライン化や新型コロナ対応、施設整備、経営支援など、医療を広い視点から支える役職を務めました。令和4年より当院に副院長として着任し、このたび院長として地域医療の重責を担うこととなりました。

近年、医療を取り巻く環境は大きな転換期を迎えております。少子高齢化、医療資源の逼迫、働き方改革など、医療機関の持続可能性が問われております。広島西医療センターもまた、地域医療構想の潮流のなかで、その使命の重さを強く感じております。

当院は「急性期医療」と「重症心身障害・神経筋難病等の政策医療」という二つの大きな柱を持つ、全国的にも特徴ある病院です。急性期医療では、大竹市を中心に広島県西部から岩国市・和木町までの広い地域の救急医療を担い、とりわけ高齢者救急の受け入れは地域の生命線と考えております。また、血液がん、透析、整形外科、泌尿器科はもとより、総合診療科さらに今後強化を図る消化器疾患など、専門的医療の提供においても「その人を丸ごと診る」全人的医療を大切にしております。一方、慢性期医療では、一般の医療機関では対応が難しい患者さまをお受けする政策医療を担い、住み慣れた地域に近い環境で安心して療養いただける体制を守り続けることが、当院に課された重要な役割です。

そして何より、この二つの使命を支えているのは、日々献身的に業務にあたる職員一人ひとりの力です。

私は院長として「この病院で働いてよかった」と思える環境こそ、地域に最良の医療を提供する土台であると考えております。職員が誇りを持ち、互いに支え合い、安心して働ける組織づくりに全力で取り組んでまいります。地域の皆さまにとりましても、職員にとりましても、「広島西医療センターでよかった」と心から思っただけの病院であり続けるために、皆さまと誠実に対話を重ね、より一層の発展に努める所存でございます。

末筆ながら皆様の温かいご支援とご鞭撻を心よりお願い申し上げます。



副院長就任のご挨拶

副院長 浅野 耕助



令和8年4月1日付けで副院長を拝命しました浅野耕助です。広島西医療センターには平成20年4月に泌尿器科医として赴任し診療業務に携わってまいりました。令和元年7月1日からは統括診療部長として統括診療部の取り纏めはもとより、病院運営の一端に加わり尽力してまいりました。折しも令和元年は新型コロナウイルス感染症の全世界的パンデミックが始まった年で、翌年からの本邦での感染拡大に直面して、自院の防疫・検査体制の整備、また大竹市との協働でワクチン集団接種会場の設置・運用に携わりました。令和3年からは医師に代わって特定の診療行為を行うことができる特定行為看護師を育成する研修センターの立ち上げに関わり、発足後研修センター長として昨年度までに院内外で16人の修了生を送り出すことができました。

このように病院全体の仕事が続けられたのも、ともに力を尽くしてくれた病院の職員はもとより、地域の皆様の応援、お力添えがあったからこそと思います。心から感謝申し上げます。

これからのことに目を向けますと、昨今の世界情勢の不安定化、物価上昇、また年を追うごとに厳しくなる気候変動の問題など、病院を取り巻く環境も一段と厳しさを増してきています。このような状況であるからこそ、地域の皆様にこれまで以上の“安心・安全な医療”を提供できるよう、鳥居院長の掲げる新しい病院理念の下に力を尽くしていく所存です。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



統括診療部長就任のご挨拶

統括診療部長 下村 壮司



この度、統括診療部長を拝命した下村壮司（しもむら たけし）と申します。私は長い間、この病院で血液内科医として働かせていただいております。臨床研究部在籍時には全国に分布する国立病院機構（NHO）の臨床研究部門で保健政策に影響のある多くの知見が集積されていることを知りました。実臨床にすぐに還元できる多職種の研究も多く、それがNHOの特徴ではないかと思います。当院は歴代の改革派院長の大胆な機能調整によって地域医療に貢献していると思いますが、個人的なものも含め開業医の先生方に時間を問わず院内外で直接支援をいただきました。私自身少しでも潤滑剤となって、次の世代へバトンタッチできるよう努力したいと思います。



看護部長就任のご挨拶

看護部長 日笠陽子



4月1日付で松江医療センターより赴任してまいりました、日笠陽子（ひかさ ようこ）と申します。出身は岡山県ですが、広島県の病院にご縁があり、2年ぶりの広島県での勤務となります。

当院は「急性期医療」と「重症心身障害・神経筋難病等の政策医療」という2つの大きな柱を持っております。患者様が住み慣れた地域で安心して治療と療養が受けられる環境を守り、当院の理念である「患者さんと共に」を実感できるよう、職員と共に取り組んで参りたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。



薬剤部長就任のご挨拶

薬剤部長 小谷智美



4月1日付で薬剤部長を拝命いたしました小谷智美（こだにともみ）と申します。

当院の理念である『患者さんと共に』を大切に、患者様お一人おひとりに寄り添った薬物療法の提供に努めてまいります。

また、安全で適切な薬物療法を支える専門職として、医師・看護師をはじめとする多職種と連携しながら、患者様が安心して治療を受けられる環境づくりに取り組んでまいります。

信頼される薬剤部を目指してまいりますので、今後とも皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願申し上げます。



新任医師紹介

消化器内科医長 **黒田 剛**

■専門医等の資格：総合内科専門医

消化器病専門医・指導医

消化器内視鏡専門医・指導医

■出身地：島根県

■出身高校：島根県立松江東高等学校

■出身大学：広島大学

■趣味：ドライブ

■自己PR：

主に、上・下部消化管内視鏡検査、治療などで地域の医療に少しでも貢献出来るよう努力して参ります。よろしくお願いいたします。



外科医師 **赤羽 慎太郎**

■専門医等の資格：

外科専門医、消化器外科専門医

大腸肛門病専門医

内視鏡外科技術認定医（大腸）

■出身地：広島県

■出身高校：広島学院高等学校

■出身大学：広島大学

■自己PR：

広島県廿日市市出身です。大竹市の地域医療に少しでも貢献できますよう尽力して参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



小児科医師 **内田 晃**

■専門医等の資格：

小児科専門医、新生児専門医

■出身地：島根県

■出身大学：広島大学

■趣味：野球観戦、子供と遊ぶこと

■自己PR：

日々学びながら、患者さんとお家族に安心していただける医療を提供できるよう努めてまいります。



腎臓内科医師 **大家 丈尚**

■出身地：島根県

■出身高校：松江北高等学校

■出身大学：日本大学

■自己PR：

地域医療に貢献できるように努めてまいります。よろしくお願い致します。



整形外科医師 **河崎 裕介**

■出身地：香川県

■出身高校：香川県立高松高等学校

■出身大学：広島大学

■自己PR：

患者様に寄り添い、地域の医療に貢献できるよう精一杯頑張ります。宜しくお願いいたします。



内科医師 **湖山 恵多**

■出身地：鳥取県

■出身高校：鳥取城北高等学校

■出身大学：岡山大学

■趣味：映画鑑賞

■自己PR：

岩国医療センターから内科レジデントとして赴任してまいりました。循環器内科医師として診療をしておりましたが、こちらでは内科全般を診させていただきます。

丁寧でわかりやすい診療を心がけておりますので、よろしくお願い致します。



脳神経内科医師 田 金 裕一郎



■専門医等の資格：

神経内科専門医

臨床神経生理学会専門医

■出身地：山口県

■出身高校：大津高校

■出身大学：鳥取大学

■自己PR：

地域の皆様が安心して過ごしていけるように、適切な診断・治療・サポートの提供に努めてまいります。よろしくお願い申し上げます。

外科医師 藤 井 友 優



■専門医等の資格：外科専門医

■出身地：広島県

■出身高校：広島大学附属高等学校

■出身大学：広島大学

■趣味：ドライブ

■自己PR：

地域の皆様の力になれるよう、精進して参ります。よろしく申し上げます。



初期臨床研修医紹介

高 橋 俊 紀



■出身地：香川県

■出身高校：大手前丸亀高校

■出身大学：広島大学

■趣味：スポーツ観戦、映画鑑賞

■自己PR：

まだ右も左も分からない新米ですが1日でも早く大竹の医療に貢献できるように精いっぱい頑張ります!!

白 鹿 宏 典



■出身地：大阪府

■出身高校：関西大倉高等学校

■出身大学：島根大学

■趣味：ゴルフ、釣り

■自己PR：

至らぬ点多々あるかと存じますが、地域の皆様の健康のため、精一杯努力します。よろしくお願いいたします。

山 中 裕 貴



■出身地：広島県

■出身高校：広島学院高校

■出身大学：徳島大学

■趣味：ドライブ

■自己PR：

医師としての知識・技術の向上を常に心がけつつ、患者さんへ寄り添うことも大切にしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

福 原 真 奈



■出身地：広島県

■出身高校：広島女学院高等学校

■出身大学：久留米大学

■趣味：映画鑑賞、温泉

■自己PR：

患者さんに寄り添い、地域の皆様に貢献できるよう、精一杯努力します。至らない点多々あるかと思っておりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

藤 永 明 志



■出身地：山口県

■出身高校：岩国高校

■出身大学：広島大学

■趣味：ドライブ

■自己PR：

明るく笑顔で元気に頑張ります！よろしくお願いいたします。



第3回 地域医療連携のつどいの開催について

経営企画室長 杉山 寿



令和8年3月13日(休)に、安芸グランドホテルにて、「広島西医療センター 第3回 地域医療連携のつどい」を開催いたしました。昨年8月に続き、本年度2回目の開催となります。今回は新たに介護施設の皆様にもご参加いただき、日頃よりお力添えいただいている地域の皆様への感謝をお伝えするとともに、医療と介護が枠を越えて交流し、より包括的な地域医療体制の構築を目指す場として実施いたしました。

当日は、医師会の皆様をはじめ、地域の医療機関や介護施設の皆様、当院職員など、約90名もの皆様にご臨席いただきました。ご多忙の中、貴重なお時間を割いてご参加くださいましたこと、心より御礼申し上げます。



開会に際して、当医療センターの新甲院長よりご挨拶申し上げた後、ご来賓として大竹市医師会会長 坪井 和彦先生、並びに大竹市長 入山欣郎様より温かいご祝辞を賜りました。続いて、佐伯地区医師会会長 大久保 和典先生のご発声により乾杯を行い、歓談が始まりました。

歓談の時間となると、会場には穏やかな雰囲気広がり、各テーブルでは医療・介護に携わる参加者が互いに挨拶を交わしながら談笑する姿が見られました。提供された食事や飲み物を囲みながら、日頃の取り組みや今後の地域連携について意見が交わされ、和やかな中にも有意義な交流が広がりました。終始落ち着いた雰囲気の中に温かな活気が生まれ、地域のつながりが一層深まるひとときとなりました。

歓談の途中には、藤高地域医療連携室長より地域医療連携実績の報告、清下消化器内科医師より消化器内科の取り組み、加茂副看護師長より認定・診療・特定行為看護師の活動を紹介させていただきました。

会の締めくくりとして、当医療センターの鳥居副院長よりご挨拶をいただき、盛況のうちに閉会となりました。

本会では、医療や介護に携わる皆様に日頃の思いや取り組みを語り合ってくださいました。そうした対話を通じて、地域のつながりを改めて実感していただく機会になったのではないかと感じております。分野を越えて言葉を交わす中で、互いの立場や考えを理解し合う場が自然と生まれ、今後の連携を進めていく上での新しい視点や相互理解が育まれたように思います。

こうした交流が、地域の支え合いをより温かく、より確かなものにしていく一助となれば幸いです。今後も当院は、地域の皆様と共に歩みながら、より良い医療提供体制づくりに取り組んでまいります。これからも変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。





令和7年度看護師特定行為研修修了式を終えて

(在宅・慢性期領域パッケージ)

看護師特定行為研修センター 研修担当 中村 美由樹

看護師特定行為研修（在宅・慢性期領域パッケージ）の第5期生3名が、7ヶ月にわたる研修を無事に終え12月26日に修了式を迎えることができました。

今年度からeラーニングの教材変更があり、今まで以上に事前学習が必要になりましたが、指導医、指導者からの助言、そして研修生の頑張りにより、充実した研修を行うことができました。研修に関わって下さった皆さまに感謝します。

特定行為研修修了おめでとうございます！

【特定行為研修修了式】



【病院長挨拶】



【研修センター長挨拶】



【研修生から一言】



特定行為研修での学びは多岐にわたりますが、自身の成長を感じている点は大きく2つあります。1つ目は、患者様の状態を根拠を持って捉え、言語化し所見と結び付けて考える思考過程が身に付きました。2つ目は、トラブル時の対応力です。3ヶ月間の実習を通して実践の中で培ってきた判断力や手技が一本の線に繋がりました。研修で得た学びを今後は自施設での実践に活かしていきたいです。

7ヶ月間の特定行為研修を通し、手技そのもの以上に観察から判断に至るまでの思考過程の重要性を学びました。実習では、患者の状態をアセスメントし特定行為を実施するか否かの判断を自分の言葉で伝えることの大切さを学びました。在宅の現場は、限られた情報と時間の中で、起きている変化を捉え、どのように伝えるかがその後の医療に左右します。これらの経験を日々の訪問看護に活かし、チーム内で共有しながら、利用者様が自宅で安心して過ごせるよう支えていきたいと思ひます。



多くの方々に支えられ、看護師特定行為研修修了証をいただくことができました。臨床推論など医師の思考過程について考え、アセスメントし判断する力が身に付いたと思ひます。研修で学んだ知識と観察の視点をスタッフと共有することで、質の高い看護の提供へと繋げていきたいと思ひます。実習を承諾して頂いた患者様に成長した姿を見せることができるよう日々邁進していきます。

令和7年度看護師特定行為研修(栄養に係るカテーテル管理)の入講式を開催しました

看護師特定行為研修センター 研修担当 中村 美由樹

令和8年1月6日に看護師特定行為研修栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連の入講式を行いました。

在宅・慢性期領域パッケージを修了した特定行為看護師1名が、3月19日までの約3ヶ月間e-ラーニングで知識を学び、シミュレーターでの練習後に実習を行い1区分の修了を目指します。



【特定行為研修入講式】



【入講許可書授与】

【受講生挨拶】



【末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理を受講した動機】



私は、血液内科病棟で勤務しています。

血液疾患のがん薬物療法のため末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入が必要です。挿入、挿入後に始まる治療について不安を抱えている患者さんが多くいます。

末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理の特定行為研修を修了し、患者さんに近い存在である看護師が、カテーテルの挿入前からその後の治療まで関わることで、全身状態の変化にタイムリーに気づき、患者さんの不安や苦痛を少しでも軽減することができるのではないかと考え、受講を希望しました。

新人看護師わかばマーク返還式を開催しました

教育担当看護師長 下 森 香



4月に就職した新人看護師は、名札にわかばマークを付けました。わかばマークを付けることで配属部署以外の職員にも、新人看護師であることが明確になり、病院全体で支援できるようにしました。

当院は、国立病院機構の理念に沿って看護を実践できる看護師をNHO-ACTyナースと称し、キャリア形成を支援する体制を整えています。新人看護師31名は、ACTyナースのレベルⅠに示した能力を修得できるように計画した全ての研修を修了し、3月12日にわかばマーク返還式を迎えることができました。



新人看護師の代表者から「1年間で難うございました。いつも気にかけてくれ、見守って下さったおかげで、できることが少しずつ増え、それが自信につながっています。まだ、不安な部分はありますが、2年目も頑張ります」と感謝を伝える挨拶がありました。代表者の言葉からは、この一年間の努力や周囲への感謝、そしてこれからの成長への決意が感じられました。

看護部長から修了書を授与されました。修了書は、一年間の研修を通じて得た経験とス

キルを認める証となります。式の最後には、各部署の先輩看護師が、新人看護師には内緒で、書き溜めたメッセージカードを、看護師長から手渡され思いがけないサプライズに感動し、式を終了しました。

この一年間の研修は、新人看護師が看護師としての役割を果たすための基盤を築くことに貢献しました。これからも新人看護師一人ひとりが、理想とする看護師に近づくことができるよう、見守り、サポートをしたいと思います。



広島西医療センターへようこそ♪♪

～新採用看護師研修をおこないました～

教育担当看護師長 下 森 香

令和8年4月1日、広島西医療センター看護部に25名の新しい仲間を迎えました。病院見学会、看護インターンシップなどで関わった新人看護師も多く、新社会人として緊張の面持ちのなかに、看護師になることを夢見て学習を重ね、その職業に就けたことを喜び、誇りに感じている白衣姿に胸が熱くなりました。そして、教え・育む、教育もここから“一緒”にはじまることを改めて感じさせてくれた瞬間でした。

4月1日からの3日間は、他職種の新入職員とともに病院組織のシステムは勿論、医療安全、感染管理などの研修を受けました。医療安全研修では、「病棟内の危険な環境・人・物」と題し、病棟を訪問して現状をK-J法で分析、自分達にできることをグループで話し合いました。安全な医療を遂行するために医療安全を理解し、自らが考えるきっかけになったと思います。感染管理研修では、標準予防対策としてエプロン、N95マスクなどの正しい着脱方法を復習しました。また、医療従事者である前に、一人の社会人として患者さんに信頼して頂けるよう心構えを接遇研修で学びました。4月4日は、看護部門の研修として、電子カルテの操作教育と、～今日から始まる安全習慣～として確認行動を知識理解にとどめず、実践可能な安全行動として定着できるように演習を行いました。この4日間を通して、着実に成長していく新人看護師の姿を見ることができました。

これから、看護師として組織人として一步を踏む出す新人看護師は、与えられた役割と業務を遂行するなかで、知識や技術、態度を身に付けていきます。新採用者研修に熱心に取り組んだ姿勢を大切に、今後、患者・家族に安心して優しいケアが提供できる看護師に成長することを願い、みんなで見守り支えていきたいと思えます。



同期の仲間と当院のマスコットキャラクターのにしーくんと記念撮影。

同期みんなで励まし合いながら頑張ろうと誓い合えました♪♪

診療科紹介

外科紹介

診療部長 大石 幸一



～皆さまに寄り添い、安心のチーム医療を届けます～

現在、当院の外科は4名の医師によるチーム体制で、外来から手術、入院生活のサポートまで、一人ひとりの患者さんに丁寧に向き合っています。

一時期はコロナ禍の影響もありましたが、現在は年間約200例の手術を行っており、地域の皆さまの健康を支える体制を整えています。

消化器の病気から「脱腸」まで幅広く対応

胃がん・大腸がん・肝がんなどの「がん治療」はもちろん、胆石や胆のう炎、ヘルニア（脱腸）、虫垂炎（盲腸）といった身近な良性疾患まで、幅広く手術を行っています。

体にやさしい「内視鏡手術」に力を入れています

特に大腸がんに対しては、傷口が小さく回復が早い「内視鏡手術」を積極的に取り入れています。新たに赴任した赤羽医師は、高度な技術を持つ「日本内視鏡外科学会技術認定医」の資格を有しており、より質の高い手術を提供しています。

「納得」と「連携」を大切に

治療にあたっては、患者さんやご家族との話し合いを何よりも大切にしています。十分な説明を行い、ご希望に沿った最適な治療法と一緒に選んでいきます。また、大学病院や近隣の病院とも緊密に連携し、当院で完結する治療から高度な専門治療への橋渡しまで、ベストな選択肢を提示します。

乳がん検診は引き続き実施しています

現在、当院に乳腺専門の医師は常勤していませんが、乳がん検診（マンモグラフィ・超音波検査）は継続して受診いただけます。

○マンモグラフィ：外部の専門認定医による「ダブルチェック（2次読影）」を行い、見落としのない診断に努めています。

○超音波検査：経験豊富な臨床検査技師が精度の高い検査を実施しています。

おなかの痛みや違和感、検診の結果など、気になることがあればお気軽に外科外来へご相談ください。



診療科紹介

血液内科紹介

血液内科医長 角野 萌

血液内科は血液の異常に関する診断や治療を行う科で、多領域の併診と専門技術をもつ臨床検査部を必要とするため、一般には大病院にある科です。当院は中規模ながら、病院統合前の1980年代後半には中四国管内初の骨髄移植を行うなど、広島大学血液内科と密接な連携をとりながら専門性の高い血液内科診療に取り組んできました。現在は多職種連携を強化し、広島西部地域の高齢者を主体とした血液疾患患者の対応を行っています。



悪性リンパ腫は最も多い代表的な血液疾患で、免疫化学療法によって治癒率は飛躍的に向上しています。ただし、そのうち数%は数日単位で臓器不全が起きてしまうので、初診の翌日にはPET-CTを行い、病変部の骨髄や腫瘍生検後、治療を開始します。当院は速やかに院内PET-CT検査が可能な数少ない専門施設です。再発時も院内で自己末梢血幹細胞移植、あるいは外来診療支援をいただいている広島大学やオンライン会議などを通じて毎月交流のある広島赤十字病院へCAR-T細胞療法（患者さんのリンパ球を採取して遺伝子改変し再輸注する治療）の依頼を行い、治癒を目指します。

白血病・骨髄異形成症候群は罹患率10万人あたり10人に満たない疾患ですが、70-80歳以上になるとそれぞれ40人前後と急速に増加します。一般に強化型治療は過酷ですが、近年は嘔気・脱毛がない分子標的治療が標準となり、それとともに特に高齢者で積極的な治療と療養生活を両立することが大事になってきました。当院では合計19床の無菌室で治療を行い、その間、認知機能評価を取り入れたリハビリや味覚評価を含む口腔ケアと栄養管理を重視し、患者さんを支える家族の負担を地域連携で協議しながら、患者さんの人生設計を包括する対応を目指しています。

多発性骨髄腫は骨髄形成症候群とともに被爆が一因となる病気ではしばしば骨折と腎不全を起こすため、整形外科や腎臓内科との連携が欠かせません。当院でも透析設備の整備により対応できる患者が増えました。

稀有な血液凝固異常症の診断・治療についても、広島大学血液凝固専門医との密接な連携のもとに対応しています。

迅速な診断と病院間の連携を含む先進治療を常に心がけておりますのでどうか気軽にご相談ください。

職 場 紹 介

●臨床工学技士

医療機器整備室 主任臨床工学技士

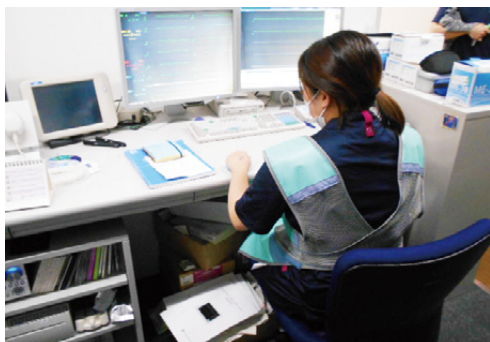
石 藏 政 昭



医療機器整備室では6名の臨床工学技士が働いています。業務内容としては、血液透析・人工呼吸器管理・心臓カテーテル検査・医療機器の点検などがあります。病院内には様々な医療

機器があり、それらの『安全な使用方法』や『点検・故障への対応』について管理業務を行っています。

心臓カテーテル検査室

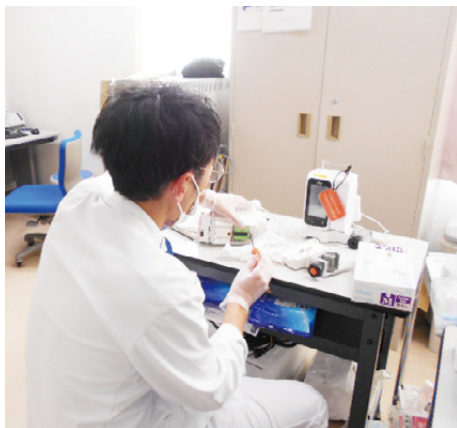


ポリグラフの操作

心臓の血管（冠動脈など）や心臓の機能を検査・治療する業務です。医師のサポートや心電図の観

察・記録などを行っています。また、植込み型ペースメーカーの定期検査などにも関わっています。

医療機器の管理



輸液ポンプの点検

主に輸液ポンプという薬を点滴するために使用する器械の管理を行っており、定期点検、トラブル対応、清掃なども行っています。

血液浄化センター



透析機器の点検

腎不全に対する血液透析の治療を行っています。治療開始～終了までの一連の業務に加え、治療に使われる透析液という水を作る器械の管理も担っています。治療中も適切なチェックを行い、アラームの減少と早期対応が行えるよう、安全対策に努めています。

人工呼吸器



人工呼吸器の勉強会

当院には人工呼吸器を使用している方が多くいらっしゃいます。それらのラウンド業務やトラブル対応を行っていま

す。また、専門的な知識も必要なため、他職種への勉強会も実施しています。

生体情報モニターの管理



モニターラウンド

心電図や血中酸素飽和度という生体情報を管理するモニターの管理も行っていきます。医療安全管理係長と連携し、毎月モニターラウンドを実施しています。これは、不必要なアラームを減らし、大切なアラームを見逃さないための取り組みです。

今後も医療機器の安全使用・安全対策に努めていきたいと思っております。

療育指導科

療育指導室長 森谷晃壮



児童指導員、保育士は福祉職として位置づけされ、療育指導室に組織されています。現在、児童指導員 8 名、保育士 9 名の計 17 名で構成されています。

療育指導室は重症心身障害の若葉病棟、神経・筋・難病のあゆみ病棟で主に業務を行っており、長期入所中の利用者の皆さまに療育や行事を提供し、より豊かな生活が送れるための支援が基本的な業務となります。

令和 7 年度は日々の療育を始め、四季折々の内容で実施した院内行事、家族の方と一緒に出席した院外行事と、利用者の皆さまの笑顔あふれる取り組みを行ってきました。令和 8 年度も引き続き利用者の皆さまにとってより良いサービスを提供して参りたいと思います。

以下の表は令和 8 年度「院内・院外行事一覧」となります。

○令和8年度 院内行事表

実施月	行事名
5・6月	あゆみ・若葉行事
8月	もみじ座
9月	還暦の祝い
10・11月	秋行事
12月	冬行事
令和9年1月	二十歳の集い
2月	もみじ座

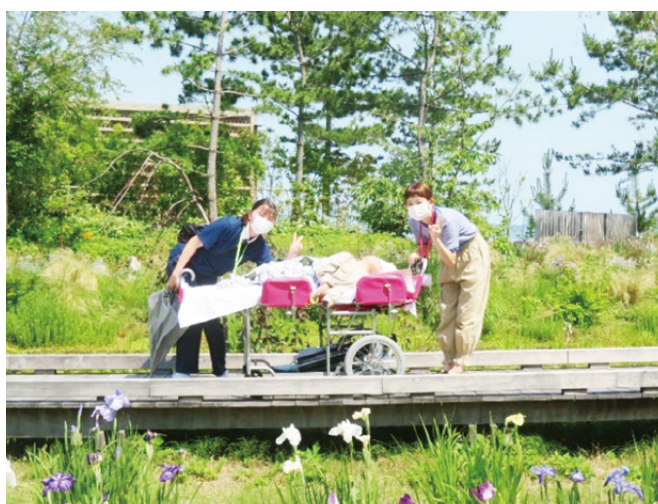
○令和8年度 外出行事行先表

行先	
錦帯橋	自宅
蜂ヶ峰総合公園	宮島 SA
下瀬美術館	大竹駅
晴海臨海公園	大竹・小方港
岩国錦帯橋空港	セリア
ゆめタウン廿日市	まるくる大野
ゆめタウン大竹	大野ファクトリー

これからも児童指導員、保育士は福祉の専門職としての知識や技術を高めるため研鑽を重ね、利用者の皆さまが安心して生活・療養ができる支援を構築して参りたいと思います。



「秋行事」



「院外行事」下瀬美術館



医療脱毛を開始いたします — 令和8年5月18日(月)より —

形成外科

形成外科では、新たに厚生労働省認可の医療用レーザー脱毛機「ジェントルマックス プロ」を導入し、医療脱毛治療を開始いたします。

医療機関ならではの安全管理のもと、幅広いお悩みに対応した脱毛治療を提供いたします。

GentleMax Pro®

ロングパルスアレキサンドライト/
ロングパルスヤグレーザー



●ジェントルマックス プロとは

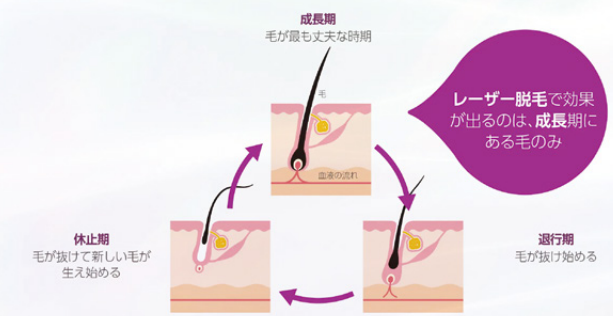
ジェントルマックス プロは、「アレキサンドライトレーザー」「YAGレーザー」の2種類の波長を搭載した医療用脱毛機です。

肌質・毛質に応じた使い分けが可能で、太い毛、産毛など、幅広い脱毛ニーズに対応できます。

GentleMax Pro® による脱毛の仕組み



1回のレーザー脱毛ですべての毛を除去できないのはなぜ？



施術前のケア



- > 施術の24～48時間前に、施術予定部位を剃毛することをお勧めします。
- > 施術部位に皮膚疾患や炎症がある場合は、担当医に伝えてください。



> 施術前 1ヶ月間は強い日差しを避け、日焼け止めを使用してください。



> 施術前3か月間は、強いケミカルピーリング剤を控えてください。



> 施術当日は、香水、デオドラント、日焼け止め、外用薬の使用を控えてください。



> 施術前1週間は、ワックスや毛抜きによる脱毛を控えてください。

施術後のケア



- > 強い日差しを避けるようにします。
- > 日焼け止め (SPF30以上) を塗ります。



- > 施術後1ヵ月は、施術部位に他のレーザー施術を行わないようにしてください。



- > 施術後1週間はケミカルピーリングを控えてください。



- > レーザー照射直後は肌が乾燥するので、肌の潤いを保つために保湿をしっかり行ってください。



- > 施術当日はシャワー浴とし、熱いお湯を避けてください。

- > スクラブ入りの石鹸は使用せず、肌を強くこすらないようにしてください。

●副作用

【起こりうる副作用】熱傷・発赤・痛み・炎症後色素沈着・炎症後色素脱失・皮膚炎

●注意事項

○施術前の注意事項

- 施術前に剃毛の必要がありますので、ご自身でご自宅にて剃毛をしていただいてからご来院ください。レーザーが反応しなくなってしまうため、毛抜きや脱色などは行わないで下さい。
- 強い日焼けをすることはお控え下さい。過度に日焼けをしている場合、レーザーの熱によってやけどをしたり、毛穴が炎症を起こす毛囊炎（もうのうえん）になる可能性があります。



○施術後の注意事項

- 毛が抜けるスピードには個人差があり、人によっては施術後2～3週間してから徐々に毛が抜けはじめます。
- お肌が非常にデリケートな状態となっていますので、入念に紫外線対策を行ってください。強い日焼けをすると、色素沈着などのリスクが上がります。
- 施術当日は激しい運動やサウナ、長湯は避けてください

●料金（税込み）

医療脱毛	女性	男性
両ワキ	3,000 円	3,000 円
全顔（1回）	15,000 円	20,000 円
ひげ（目下～顎下まで ※首は含まない）		15,000 円
Sパーツ（1部位）	5,000 円	5,500 円
Mパーツ（1部位）	8,500 円	10,000 円
Lパーツ（1部位）	15,000 円	17,000 円
全身脱毛	準備中	準備中

Sパーツ：鼻下、あご、あご下、ほほ、おでこ、もみあげ、へそ周り、乳輪周り、手の甲と指、足の甲と指、膝

Mパーツ：両上腕（ひじ上）、両前腕（ひじ下）、うなじ、お腹下、Vライン、Oライン、Iライン

Lパーツ：両大腿（ひざ含まない）、両下腿（ひざ含む）、背中、両腕（手と指なし）、胸、腹、お尻

※脱毛治療は初診料・再診料不要です

※麻酔クリーム：200円／1g





患者図書室から



貸出の多い本 (ほんの一部を ご紹介)



患者図書室の貸出が多い本を一部、ご紹介します。
入院患者さん、通院患者さん、ご家族、どなたでもご利用できます。お気軽にどうぞ。

～気分転換に～



薬屋のひとりごと
(日向夏/主婦の友社)



不器用解決事典 仕事も人生も、これでうまく回る！
(中島 美鈴/朝日新聞出版)



ムリなく気楽にちょうどよく 「ひとり老後」の人づきあいの知恵袋
(保坂 隆/明日香出版社)



103歳、名言だらけ。 なーんちゃって
(石井 哲代・中国新聞社/文芸春秋)



ハツ江おばあちゃんのおうち和食 100レシピ NHK「きょうの料理ビギナーズ」ブック
(高木 ハツ江 著・河野 雅子 監修/ NHK 出版)



～病気と向き合うヒントに～



過活動膀胱がわかる本 頻尿・尿もれはこうして治す
(高橋 悟 監修/講談社)



大人の愛着障害 「安心感」と「自己肯定感」を育む方法
(村上 伸治 監修/大和出版)



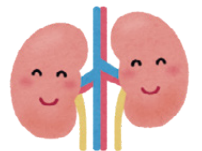
腎機能を自力で強くする 弱った腎臓のメンテナンス法
(高取 優二/アスコム)



1日3000歩 歩きたいのに歩けない人のための すごい足踏み
(菊池 守/アスコム)



京都大学病院 糖尿病・栄養科が薦める くり返し作りたい 糖尿病のおいしい献立
(稲垣 暢也 監修・舘野 真知子 料理/西東社)



「図書紹介ファイル」2026年版 出来ました♪

今年も患者図書室の図書紹介ファイルを作りました。各待合室、病棟デイルームに配布しています。
どうぞご覧ください。



「病気や健康」に関する本のご紹介

「健康情報のひとしずく」

左 ピンク色のファイル

※疾患別におススメの本を写真入りで
分かりやすく、ご紹介

小説やマンガ、絵本などのご紹介

「さつき文庫」

右 白色のファイル



開館時間 10時～15時(土日祝日・年末年始・第2月曜日をのぞく)
※第2月曜日が祝日と重なる場合は、第4月曜日が休館となります。
場 所 正面玄関から入って直進 70m 先

患者図書室

売店

正面玄関





* 選択食～麺のご紹介～

当院では、毎週水曜日～金曜日の昼食・夕食の献立に、患者さまご自身で選ぶことができる選択食を取り入れています。

選択食は、普通食を召し上がられている（アレルギーや禁止のない）方を対象としています。

選択食で麺も提供しています。ぜひ、麺の献立もお楽しみください♪



肉うどん



焼きそば



茶そば



クリームパスタ



地域医療連携機関のご紹介

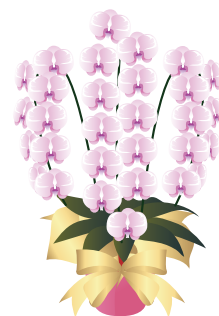
しまだファミリークリニック

【診療科目】 内科・小児科

【院長名】 嶋田 博光

【住所】 〒739-0612 大竹市油見3-12-7 TEL 0827-53-3022 FAX 0827-53-6204

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○
14:00～15:00	☆		☆		☆	
15:00～18:00	○	○	○	/	○	/



☆小児予防接種・乳幼児健診

【診療内容・特徴等】

当院は昭和50年に開院した「嶋田内科胃腸科医院」を、平成24年に「しまだファミリークリニック」として現在の地に移転開院しました。0歳児からご高齢の方まで、急性疾患、生活習慣病、予防接種など幅広く診療しています。小さなお子さまと一緒にご両親やご家族のみなさまを診療で



きる、どの世代でもどんな病状でも臨機応変に対応するクリニックをめざしています。ちょっとしたことで気軽に相談でき、患者さんがほっとする場所でありたいと心がけています。広島西医療センターには精密検査や入院が必要な方の相談など、日々お世話になっております。これからも緊密に連携をとって地域医療に貢献できればと考えております。



地域医療連携機関のご紹介

おおえ内科クリニック

【診療科目】 内科・消化器内科・内視鏡内科

【院長名】 大江 啓常

【住所】 〒739-0622 広島県大竹市晴海1-4-13 TEL 0827-35-5552 FAX 0827-35-5553

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	/	○	○	○
15:00～18:00	○	○	/	○	○	/

※水曜日、土曜日午後、日曜日、祝日は休診

【クリニックの紹介】

当クリニックは、地域の皆さんが気軽に相談できる「身近で頼れるかかりつけ医」を目指して診療を行っています。日常的な体調不良や生活習慣病の管理はもちろん、専門性の高い検査まで一つの医療機関で完結できることを大切にしています。診療にあたっては、「安全で良質な医療の実践」「常に謙虚で思いやりのある対応」「プライバシーの尊重」を診療ポリシーとしています。内視鏡診療を中心に、高血圧症や糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病にも対応し、地域の皆さんの健康を長く支えていきたいと考えています。



外観

【クリニックの特徴】



受付・待合室

特に力を入れているのが、胃と大腸の内視鏡検査です。経鼻内視鏡の導入や、大腸内視鏡での炭酸ガス送気、少量の鎮静剤の使用など、できるだけ苦痛の少ない検査を心がけています。長年にわたり消化器内科、特に内視鏡診療に携わってきた経験を生かし、安心して検査を受けていただける環境づくりに取り組んでいます。

大腸内視鏡検査では、検査中にポリープが見つかった場合、その場で切除を行う「日帰り内視鏡ポリープ切除」に対応して

います。ポリープが大きくなる前に切除することで大腸がんの予防につながり、検査と治療が一度で済むため、身体への負担や通院の手間を減らすことができます。

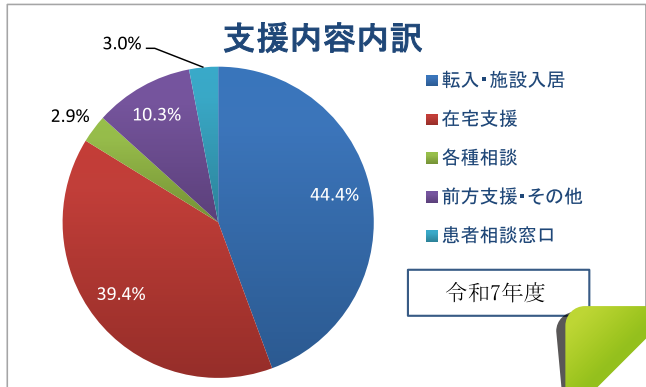
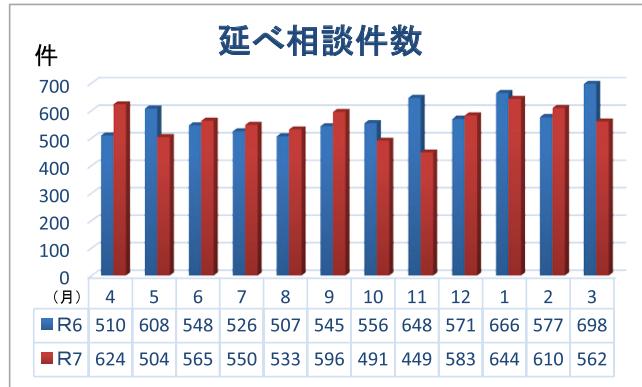
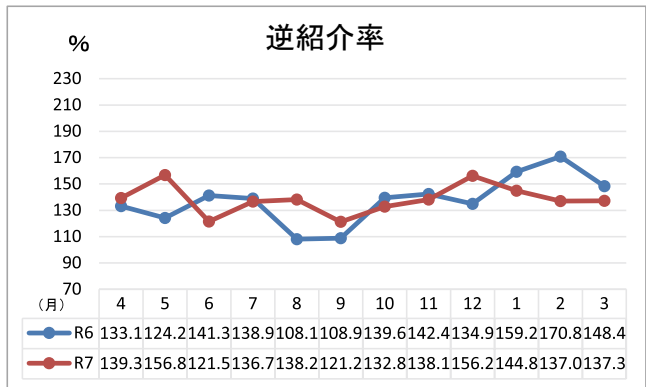
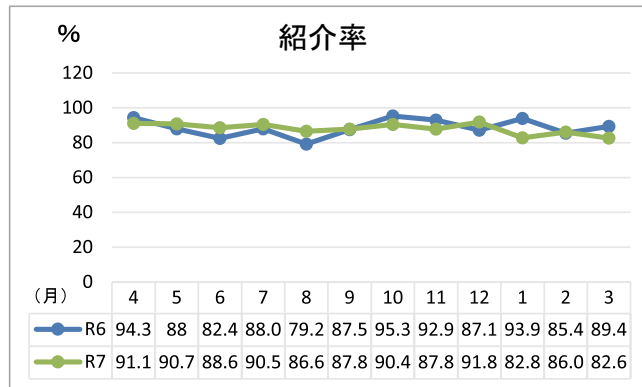
また、胃がんの大きな原因であるピロリ菌の除菌治療にも積極的に取り組んでいます。内視鏡で胃炎の有無を確認し、必要に応じて検査を行います。結果は短時間で判定でき、感染が確認された場合は、1週間の内服治療で除菌が可能です。



内視鏡検査室

地域医療連携室実績報告

※令和7年4月分より、過去データも含めて算出方法を変更しております



紹介医療機関実績報告

ご紹介をいただいた医療機関を一部掲載しました。

紙面の都合上すべてを掲載できませんが、ご紹介をいただきありがとうございました。

紹介元医療機関 上位20施設 (50音順)	件数 (総数)	件数 (月平均)
医療法人社団いちご会 糸谷整形外科医院	1,219	203
独立行政法人 国立病院機構 岩国医療センター	125	21
駐留軍要員健康保険組合岩国基地診療所(岩国ベース)	105	18
おおえ内科クリニック	330	55
大竹中央クリニック	125	21
おだ整形外科クリニック	108	18
医療法人社団明和会 大野浦病院	79	13
医療法人 木村医院	64	11
こうろ皮ふ科	112	19
佐川内科医院	80	13
JA広島総合病院	192	32
しまだファミリークリニック	169	28
坪井クリニック	92	15
ないとうクリニック	88	15
医療法人 中村クリニック	253	42
広島大学病院	68	11
村井内科クリニック	82	14
医療法人社団知仁会 メープルヒル病院	92	15
山下ケアクリニック	526	88
医療法人社団親和会 大和橋医院	76	13

紹介先(逆紹介)医療機関 上位20施設 (50音順)	件数 (総数)	件数 (月平均)
医療法人ハートフル アマノ病院	148	25
医療法人社団いちご会 糸谷整形外科医院	1,105	184
独立行政法人 国立病院機構 岩国医療センター	323	54
岩国市医療センター医師会病院	125	21
岩国市立美和病院	72	12
おおえ内科クリニック	269	45
大竹中央クリニック	134	22
おだ整形外科クリニック	84	14
医療法人社団明和会 大野浦病院	183	31
医療法人 木村医院	74	12
佐川内科医院	111	19
JA広島総合病院	491	82
しまだファミリークリニック	157	26
医療法人英真会 坪井クリニック	83	14
医療法人 中村クリニック	208	35
広島大学病院	241	40
村井内科クリニック	83	14
医療法人社団知仁会 メープルヒル病院	168	28
山下ケアクリニック	381	64
医療法人社団親和会 大和橋医院	109	18

※件数は令和7年4月～令和8年3月実績

外来診療担当医表

広島西医療センター

広島西医療センターホームページでも紹介しています。ご利用ください。
<https://hiroshimanishi.hosp.go.jp/>

※受付時間 午前8時30分から午前11時まで

…前号からの変更箇所

令和8年4月13日現在

		月	火	水	木	金	備考
総合診療科	1診(新患)	生田 卓也	大谷裕一郎	生田 卓也	大谷裕一郎	広大医師	下記の専門領域以外の新患
	2 診	大谷裕一郎	生田 卓也	大谷裕一郎	生田 卓也	/	
内科	1診 呼吸器/血液	広大(呼吸器)	宗正昌三(血液)	下村壮司(血液)	広大(呼吸器)	広大(血液)	再診外来予約制
	2診 消化器	黒田剛/山中秀彦(消化管)	清下裕介(胆膵)	山中秀彦(消化管)	清下裕介(胆膵)	黒田剛(消化管)	
	3診 内分泌代謝/糖尿病	/	太田 逸朗	太田 逸朗	広大医師	/	
	4診 血液	広大医師	角野 萌	宗正 昌三	角野 萌	宗正 昌三	
	5診 循環器	藤原 仁	栗栖 智	藤原 仁	栗栖 智	藤原 仁	
	6診 消化器/血液	下村 壮司(血液)	広大(肝臓)	/	広大(肝臓)	/	
	22診 腎臓	/	平塩 秀磨	/	大家 丈尚	大成小百合	
脳神経内科	1 診	鳥居 剛	黒田 龍	原 直之	牧野 恭子	檜垣 雅裕	予約制
	2 診	牧野 恭子 (パーキンソン病)	田金裕一郎	黒田 龍	檜垣 雅裕 (頭痛)	原 直之	予約制 PM
	3 診	田金裕一郎	/	/	/	/	予約制
インスリンポンプ外来		太田 逸朗	/	/	/	太田 逸朗	予約制 PM
禁煙外来		/	担当医	/	/	/	14時~16時 予約制
小児科	一般外来	広大医師AM	/	/	/	/	
	専門外来	小児筋ジストロフィー	古川 年宏	古川 年宏	古川 年宏	古川 年宏	古川 年宏
重症心身障害		金子陽一郎/内田 晃	金子陽一郎/内田 晃	金子陽一郎/内田 晃	金子陽一郎/内田 晃	金子陽一郎/内田 晃	予約制
神経外来		/	小林(第3)	/	/	/	
補装具		/	/	/	/	/	
外科	初診	赤羽慎太郎	豊島 幸憲	大石 幸一	大石幸一/赤羽慎太郎	/	金曜日は 適宜問い合わせ
	再診	藤井友優/大石幸一	大石幸一/赤羽慎太郎	赤羽慎太郎	豊島 幸憲	/	
整形外科	初診	高橋 大地	河崎 裕介	永田 義彦	/	根木 宏	木曜日手術日
	再診	根木 宏	永田 義彦	根木 宏	/	永田 義彦	
	再診	(永田義彦/河崎裕介)	広大医師	高橋大地/河崎裕介	/	河崎裕介/高橋大地	月曜日()手術
形成外科		藤高淳平PM	藤高 淳平	/	藤高淳平AM・PM	藤高 淳平	月曜日(AM)・水曜日手術日
泌尿器科	1 診	安本 博晃	/	安本 博晃	広大医師	安本 博晃	火曜日手術日
	2 診	浅野 耕助	浅野 耕助	広大医師	/	浅野 耕助	木曜日手術日
産婦人科		古宇 家正AM	/	/	古宇 家正AM	/	予約制
皮膚科		末岡 愛実	末岡 愛実	/	末岡 愛実	末岡 愛実	水曜日手術日
眼科		広大医師AM	/	/	/	/	

●予約窓口●

- ・患者さんからの直接予約・予約変更は、平日13時~16時までに予約センターへご連絡下さい。
- ・医療機関からの予約 (CT・MRI 含む) は、地域医療連携室へご連絡下さい。
- ・予約窓口がわからない場合も、地域医療連携室にご連絡下さい。

■病院代表電話番号 TEL (0827)57-7151 ■予約センター(直通) TEL (0827)59-0251

■地域医療連携室 ダイヤルイン (0827)57-7183(内線2140) FAX (0827)57-7701